

第 54 回富山市都市計画審議会会議録

(1) 会議の名称 第 54 回富山市都市計画審議会

(2) 開催の日時及び会場

日時：令和 6 年 2 月 19 日（月） 午後 2 時 00 分から午後 2 時 40 分まで

会場：富山県民会館 6 階 611 号室

(3) 出席者（委員出席者及び事務局） 別紙のとおり

(4) 議題

< 議事 >

議案第 1 号 富山南都市計画整備、開発及び保全の方針の変更について（富山県決定）
…富山南都市計画区域マスタープランの変更

議案第 2 号 富山高岡広域都市計画道路の変更について（富山市決定）
… 3・5・237 号 日方江線の廃止

(5) 審議概要

事務局：（開会宣言）

事務局：（代理出席者、欠席委員の紹介）

事務局： 現在、審議委員 20 名中、17 名の出席をいただいております。富山市都市計画審議会条例第 6 条第 2 項に規定する定足数に達しておりますことをご報告いたします。

部長：（あいさつ）

会長： 今回の署名委員として「富樫委員」と「才木委員」にお願いしたいと思います。

富樫委員： 了承。

才木委員： 了承。

会長： それでは、これより議事に入ります。議案第 1 号につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（説明資料：富山市都市計画審議会議案書、富山市都市計画審議会資料集）
（議案第 1 号について説明）

会 長： ありがとうございます。

本計画は、公共交通サービスの維持確保を進め、特に公共交通の活性化による拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進めるという方針が示されています。一方で、自治体によっては公共交通の運転手不足等から、路線の廃止や減便・縮小を行っている場合もあります。富山南都市計画区域内ではどのような状況でしょうか。また、これまでどおりのサービスの維持は可能でしょうか。

事 務 局： 富山南都市計画区域内では、高山本線、富山地方鉄道不二越・上滝線といった公共交通軸の活性化を図ることで、鉄道事業者と共に公共交通の維持に努めています。他にも、国道41号を走る幹線バス路線である笹津線では、便数を確保するとともに、ファストバス社会実験を行うなど、市民が富山駅に繋がれるように幹線軸の維持に取り組んでいます。また、生活の足を確保するための施策として、八尾・大山地域では、市直営でコミュニティバスを運営、大沢野地域では、シルバータクシーというデマンド型の交通を運行、婦中地域では、地域自主運行バス（コミュニティバス）に取り組んでおり、地域によって様々な形態を用い、地域内での移動手段の確保に努めています。このような取り組みを続けることでコンパクトなまちづくりを進めていきたいと考えております。また、ご質問のありました運転手不足については、本市としても課題であると考えており、引き続き様々な方法を検討していきます。

委 員： 能登半島地震の復興については記載しないのでしょうか。富山南都市計画区域マスタープランは20年先を見据えているということで、復興まである程度時間を要すると考えられますが、記載の必要はないのでしょうか。

事 務 局： 本計画は能登半島地震の前に作成したもので、復興の記載については富山県の意向を確認できていないため、現時点ではお答えできません。

委 員： p22に下水道における雨水・大雨への対策について記載がありますが、地震については問題ないのでしょうか。整備目標の中に含まれているという理解でよろしいでしょうか。

事 務 局： p22中の「汚水については、整備が概成しているため、老朽化により処理機能が低下している施設については更新等を図る」の「更新等」の中に耐震を含めた対策が含まれているという理解をしています。

会 長： ありがとうございます。他にご意見等がありますでしょうか。ご意見が無ければ、議案第1号は原案のとおり議決させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員： 異議なし。

会長： 異議が無いようですので、議案第1号は議決し、原案のまま議決させていただきたいと思います。

会長： 次に、議案第2号につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局： (説明資料：富山市都市計画審議会議案書、富山市都市計画審議会資料集)
(議案第2号について説明)

会長： ありがとうございます。議案第2号についてご意見・ご質問があれば伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

委員： 都市計画道路の計画ができてから40年近くになりますが、これまで整備されなかった理由は何でしょうか？

事務局： 他の県道や都市計画道路等の整備が進んだことにより、本路線の早急な整備の必要性が低くなり、未着手となっていました。

委員： 本路線はもともと優先順位が低かったのでしょうか。

事務局： 他路線の整備状況との兼ね合い等から、結果的に早急な整備を行う優先順位が低くなっていきました。

会長： 他にご意見等がありますでしょうか。異議が無いようですので、議案第2号は議決し、原案のまま答申させていただきたいと思います。

委員： 異議なし。

会長： 異議が無いようですので、第2号は議決し、原案のまま議決させていただきたいと思います。

会長： ご意見がなければ、これで本日の議事はすべて終了となります。

事務局： ありがとうございます。(第54回富山市都市計画審議会の閉会の案内)

以上

委員：高山委員、久保田委員、神山委員、倉嶋委員、富樫委員、才木委員、石倉委員、高橋委員、東委員、江西委員、舎川委員、松井委員、柏委員、佐藤委員（代理）、古池委員（代理）、中村委員（代理）、長谷川委員（代理）（計 17 名）

事務局：活力都市創造部長、活力都市創造部次長、活力都市創造部次長（技術）、都市計画課長、その他 4 名